

◆ 今週のコメント (感染地域, 感染経路については推定を含みます。)

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第8週追加)あり, 症状は肺炎です。本年の累積報告数は7例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(80歳代男性)ありました。症状は咳・肺炎・菌血症で, 感染地域は国内, 感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は16例となりました。
京都市では, 「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ 梅毒(早期顕症)の報告が2例(40歳代女性2例)あり, 感染経路はいずれも性的接触です。本年の累積報告数は16例となりました。
- ・ 百日咳の報告が1例(10歳未満女性)あり, 症状は持続する咳・夜間の咳き込み・スタッカート・ウープ・チアノーゼ・白血球数増多で, 感染地域は国内, 感染経路は家族内感染です。本年の累積報告数は3例となりました。

◆ 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市における侵襲性肺炎球菌感染症の平成30年の累積報告数は16例(男性9例, 女性7例)となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 7例(肺結核 1例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性なし
【1月以降の累積報告数 53例(肺結核 20例, その他結核12例, 潜在性結核感染者 21例)うち喀痰塗抹陽性 8例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- ・ 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 16例】
- ・ 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

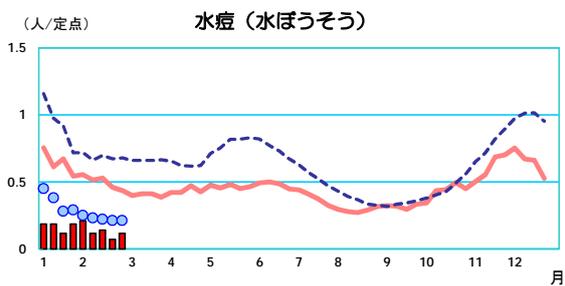
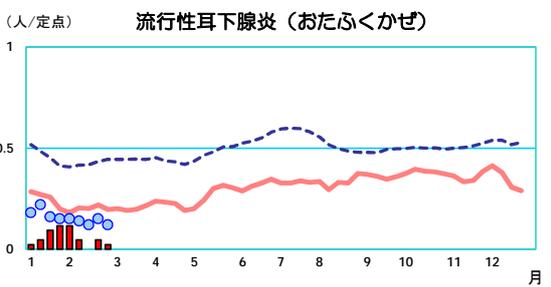
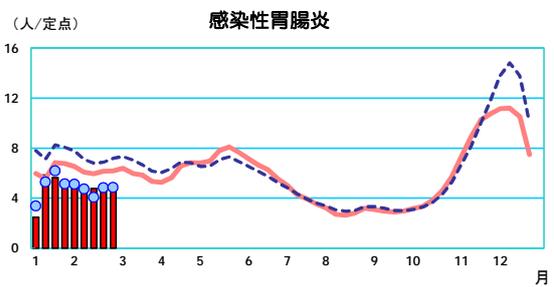
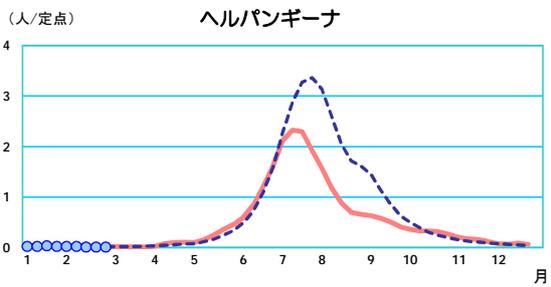
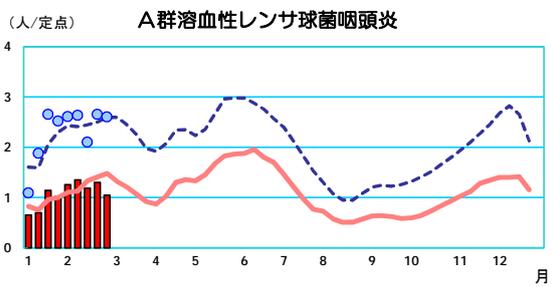
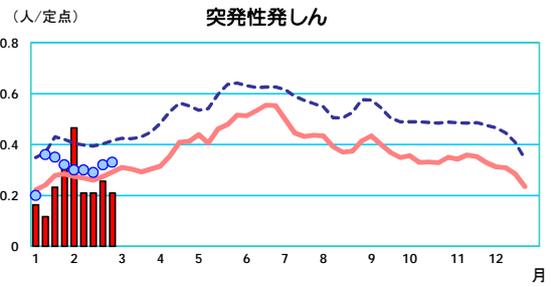
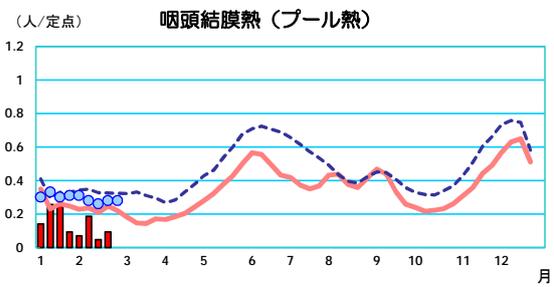
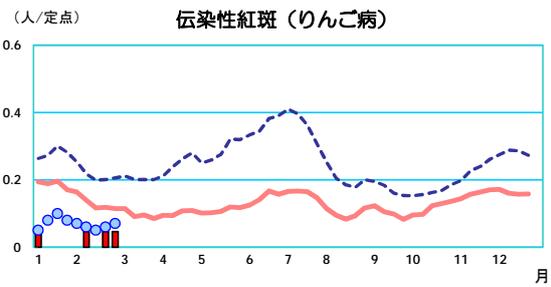
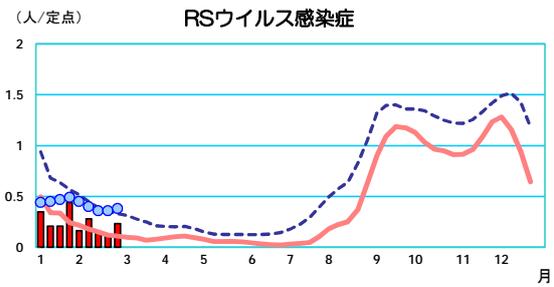
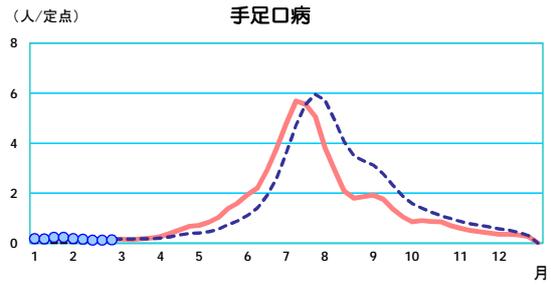
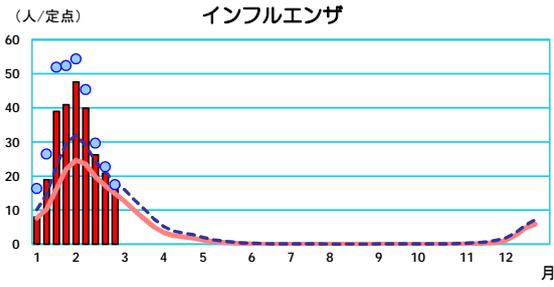
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	17.55	1,211
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.91	211
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	45
	③ RSウイルス感染症	0.23	10
	④ 突発性発しん	0.21	9
	⑤ 水痘	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成30年3月7日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第9週(2月26日～3月4日)トピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市及び全国の発生動向

京都市における侵襲性肺炎球菌感染症の平成30年の累積報告数は16例(男性9例, 女性7例)となっています。本疾患は平成25年4月1日から全数把握対象疾患(五類感染症)として届出対象となりました。平成28年までは毎年報告数が増加していましたが, 昨年の報告数は63例と減少しました。一方, 全国においては患者数が年々増加して, 平成29年には3,000例を超える報告があり(表1), 今後の発生動向に注意が必要です。

京都市の年齢階級別報告数の推移は, 平成26年以降60歳代以上の報告数が全体の60%を超えています(図1)。

症状

潜伏期間は不明で, 症状は小児と成人で異なります。小児の場合, 肺炎を伴わず, 発熱のみを初期症状とした菌血症(*)が多く見られます。成人の場合, 発熱, 咳嗽, 喀痰, 息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く見られます。

(*)菌血症: 本来, 無菌であるはずの血液中に細菌が存在する状態です。

予防

侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチン接種が有効とされています。京都市で本症と診断され報告のあった患者のうち, 4歳未満のワクチンを接種していた割合は70%を超えています, 60歳代以上では未接種と接種歴不明を合わせて95%近くになっており(図2), 高齢者に対するワクチン接種がまだまだ浸透していないことが伺われます。

京都市では, 「小児用肺炎球菌ワクチン」及び「高齢者用肺炎球菌ワクチン」を定期接種として実施しています。詳しい情報については, 下記URL(健康安全課ホームページ)を御参照ください。

- 京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
- 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

表1 京都市と全国の年次別報告数

	平成25年*	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年**
京都市	15	40	50	77	63	16
全国	1001	1825	2403	2736	3204	757

*平成25年4月1日以降, **平成30年3月4日まで

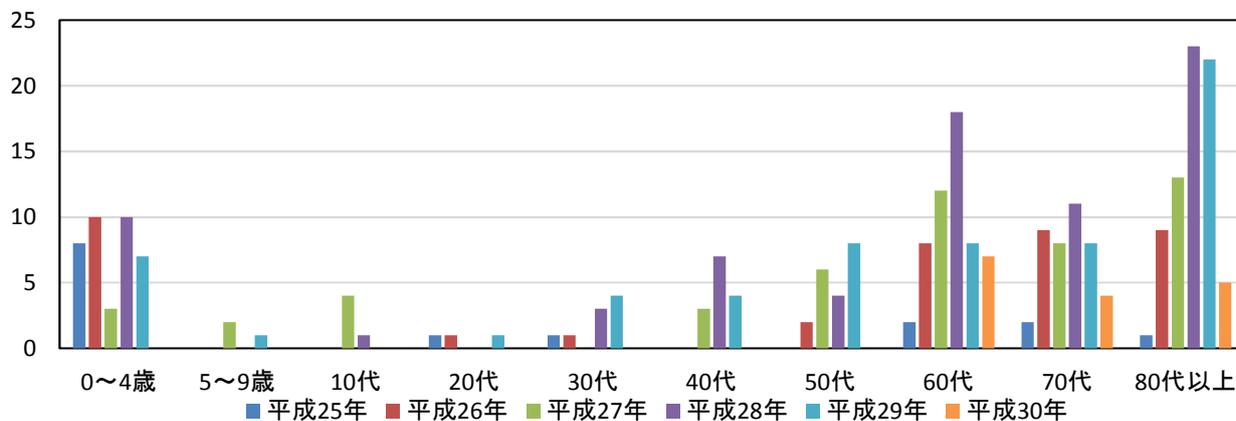


図1 京都市の年齢階級別報告数の推移(平成25年4月1日～平成30年3月4日)

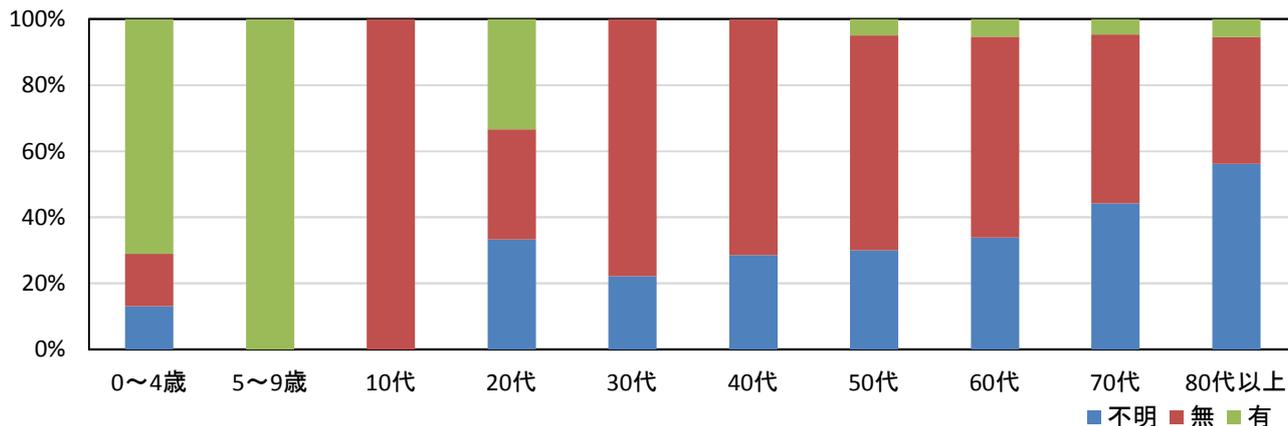


図2 京都市の年齢階級別ワクチン接種率(平成25年4月1日～平成30年3月4日)

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第9週

疾病,行政区別報告数

平成30年2月26日～平成30年3月4日

データ入手日:平成30年3月7日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	79	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2						
上京	54	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	124	1	-	6	67	-	-	2	-	-	-	-	-						
中京	62	-	-	3	5	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	29	1	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	121	2	-	-	9	-	-	-	2	-	-	-	-						
下京	17	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	160	-	-	1	13	1	-	-	1	-	-	-	-						
右京	179	1	-	13	28	2	-	-	3	-	1	-	1						
伏見	224	3	-	7	38	1	-	-	1	-	-	-	-						
西京	162	2	-	12	29	1	-	-	1	-	-	-	-						
京都市計	1,211	10	-	45	211	5	1	2	9	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	11.29	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	2.00						
上京	10.80	-	-	0.33	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	17.71	0.25	-	1.50	16.75	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
中京	12.40	-	-	1.00	1.67	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	9.67	0.50	-	-	7.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	17.29	0.40	-	-	1.80	-	-	-	0.40	-	-	-	-						
下京	5.67	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	32.00	-	-	0.33	4.33	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-						
右京	22.38	0.20	-	2.60	5.60	0.40	-	-	0.60	-	0.20	-	1.00						
伏見	20.36	0.43	-	1.00	5.43	0.14	-	-	0.14	-	-	-	-						
西京	20.25	0.40	-	2.40	5.80	0.20	-	-	0.20	-	-	-	-						
京都市計	17.55	0.23	-	1.05	4.91	0.12	0.02	0.05	0.21	-	0.02	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象：平成30年第9週

年齢階級，疾病別報告数

平成30年2月26日～平成30年3月4日

データ入手日：平成30年3月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ ^(※1)	年齢1	1,211	3	11	39	46	69	66	85	91	51	48	58	168	63	66	66	96	52	54	43	36	
RSウイルス感染症	年齢3	10	4	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		45	-	-	2	3	5	5	2	5	3	3	7	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		211	2	11	16	19	18	25	7	13	12	11	12	29	7	29	-	-	-	-	-	-	-
水痘		5	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-
細菌性髄膜炎 ^(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ^(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ^(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級，疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ ^(※1)	年齢1	17.55	0.04	0.16	0.57	0.67	1.00	0.96	1.23	1.32	0.74	0.70	0.84	2.43	0.91	0.96	0.96	1.39	0.75	0.78	0.62	0.52	
RSウイルス感染症	年齢3	0.23	0.09	0.05	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.05	-	-	0.05	0.07	0.12	0.12	0.05	0.12	0.07	0.07	0.16	0.19	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.91	0.05	0.26	0.37	0.44	0.42	0.58	0.16	0.30	0.28	0.26	0.28	0.67	0.16	0.67	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.12	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.05	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	0.10	-
細菌性髄膜炎 ^(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ^(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ^(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
 ※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
 ※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
 ※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第9週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年3月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2,827	3,287	2,752	1,809	1,434	1,211
RSウイルス感染症	19	7	12	6	5	10
咽頭結膜熱	4	3	8	2	4	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	54	58	51	56	45
感染性胃腸炎	220	229	209	205	205	211
水痘	8	9	5	6	3	5
手足口病	10	3	4	1	1	1
伝染性紅斑	-	-	2	-	2	2
突発性発しん	14	20	9	9	11	9
ヘルパンギーナ	2	-	1	-	1	-
流行性耳下腺炎	5	5	2	-	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	5	6	1	2	3
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3,156	3,622	3,068	2,090	1,726	1,498

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	40.97	47.64	39.88	26.22	20.78	17.55
RSウイルス感染症	0.44	0.16	0.28	0.14	0.12	0.23
咽頭結膜熱	0.09	0.07	0.19	0.05	0.09	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	1.26	1.35	1.19	1.30	1.05
感染性胃腸炎	5.12	5.33	4.86	4.77	4.77	4.91
水痘	0.19	0.21	0.12	0.14	0.07	0.12
手足口病	0.23	0.07	0.09	0.02	0.02	0.02
伝染性紅斑	-	-	0.05	-	0.05	0.05
突発性発しん	0.33	0.47	0.21	0.21	0.26	0.21
ヘルパンギーナ	0.05	-	0.02	-	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.12	0.12	0.05	-	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.50	0.60	0.10	0.20	0.30
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	48.85	55.81	47.69	32.83	27.73	24.46

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。